

晴れの国ブルースカイ事業

1 事業の概要

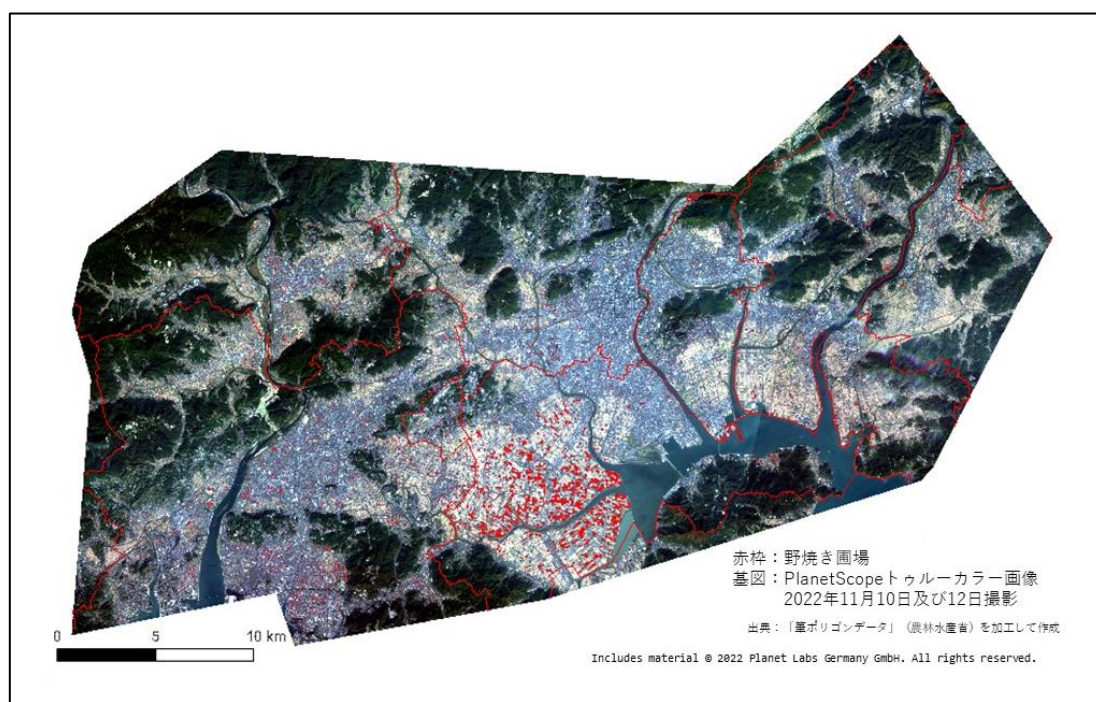
平成29年度から令和2年度の本県における微小粒子状物質（PM2.5）の環境基準達成率は全国ワースト1位であり、県南部で出現する高濃度日は、稲わらの野焼きの影響があります。このため、PM2.5の濃度に直接影響を与える野焼きの減少に向け、野焼きを規制するのではなく、関係者の理解を深めつつ、稲わらの焼却処理から有効活用（ほ場へのすき込み等）への転換を図っています。

2 令和4年度実績

（1）稲わら等有効活用把握事業

令和4年度の稲わらの処理実態を衛生写真等により調査を行いました。

《野焼き推定圃場判定結果（令和4（2022）年秋期）》



（2）関係団体等連携推進会議

県、市及び農業団体で構成する標記会議を開催し、野焼きの低減に向けた協議を行いました。

- 日 時 令和4年7月12日（火）13時30分～15時05分
- 場 所 ピュアリティまきび
- 議 題 令和3年度の実績について
令和4年度の実績について
稲わら等の有効利用に向けた取組紹介について

(3) 稲わら有効利用促進事業

農家に対し、稲わらをすき込んだ際に必要となる稲わら分解促進材（石灰窒素等）の購入支援（最大50%補助）を行い、野焼きからの転換を促しました。

- 対象者 ほ場（対象地区内に限る。）で稲わらを焼かずにすき込む方
- 申請期間 令和4年9月1日～12月26日
- 補助件数 213件

(4) 大気環境改善普及啓発事業

チラシ作成、広報媒体、研修会による農業系廃棄物（産業廃棄物を含む。）の適正処理に関する啓発等を行いました。

- 啓発チラシの配布 約50000部
- JA講習会による啓発 13箇所（9～12月）※当課が直接行ったもの
- 山陽新聞紙面に掲載 1回（令和4年10月29日）
- ラジオCM 11回（10～11月）

《啓発チラシ》

稲作をしている みなさまへ

もったいない!

稲わらは燃やさず、
すき込むのがおトク!

広がっています!稲わらで土づくり

岡山県

おすすめする理由

稲わらを燃やさず、
すき込み続けると肥沃な土になります。
※わらのすき込みで土壌有機物(炭素)の比率が1.2倍になった調査結果があります。

空気もきれいに

県南では約9割のほ場で、
すき込み等の有効利用がされています。

実施者から多くあがった声

今後もすき込みを続けたい 火を使わないので安全
煙の心配がない 計画的に実施しやすい
※岡山県環境管理課調べ

すき込みのコツ

コンバインで細断
稲わらが集まっている部分は均一に散らす。

早めに浅く耕うん
石灰窒素等を散布し、年内を目安に深く(10cm程度)すき込むと、分解が早く進む。

お問い合わせ先
岡山県環境管理課 ☎086-226-7302

土づくりの技術に関するお問い合わせ先

岡山市の方 備前広域農業普及指導センター ☎086-233-9848
倉敷市、早島町の方 備南広域農業普及指導センター ☎086-434-7048

※このチラシは岡山県産業廃棄物処理課を活用して作成しています。

岡山県

2022.10月

担当部署

環境文化部 環境管理課 大気保全班